FEther CB-TXL
取扱説明書・Windows® XP編

http://www.corega.co.jp/

この度は、「corega FEther CB-TXL」アダプター（以下、本製品と表記）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品をWindows XP のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

注意 本製品では Windows XP のドライバーとして、Windows 2000 用ドライバー（¥WIN2000 フォルダに収録）を使用します。

注意 本製品を使用中は、サスペンドレジューム機能は使用しないでください。本製品を使用中にコンピューターがサスペンド状態になった場合は、通信の切断やその他、予期しないエラーが発生することがあります。

1 アップデートインストール

1 本製品をコンピューターのPCカードスロットから取り外した状態で、Windows 98/2000/Me から Windows XP へのアップデートを実行してください。アップデートが完了すると、Windows XP は本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

2 次の「3 ドライバーの新規インストール」を実行してください。

2 インストール時の注意

必ず「コンピュータの管理者」[*1]となっているユーザー名でログオンしてください。「制限付きアカウント」のユーザー名や「Guest」でログオンした場合、LAN アダプターのインストールや設定を行う権限が与えられません。

3 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーをWindows XPに新規インストールする手順を説明します。

1 本製品をコンピューターのPCカードスロットから取り外した状態で、コンピューターの電源をオンにし、Windows XP を起動してください。

注意 必ず「コンピュータの管理者」となっているユーザー名でログオンしてください。

2 PC カードスロットに本製品を挿入してください。

3 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が現れます。[*2]「**一覧または特定の場所からインストールする（詳細）**」を選択して、「次へ」をクリック[*3]してください。

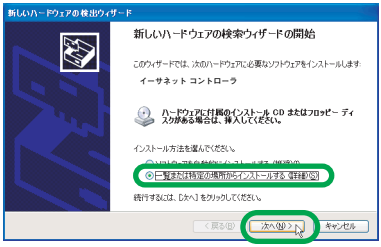

図 3.1 新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

4 「**検索しないで、インストールするドライバを選択する**」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

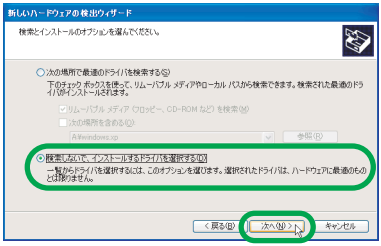

図 3.2 検索とインストールのオプション選択

5 「ハードウェアの種類」が表示されます。「共通ハードウェアの種類」から「ネットワークアダプタ」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

*1 「コントロールパネル」ウィンドウの「ユーザーアカウント」で確認できます。

*2 新規インストールのとき、デバイスマネージャが表示されていると、図 10.1 のように表示されますが、ウィザードに従いインストールを続行してください。

*3 本書で、単に「**クリック**」と言った場合はマウスの左ボタンを押す操作、「**右クリック**」は右ボタンを押す操作を意味します。

P/N J613-M3513-02 Rev.A 011022

6 「ネットワークアダプタの選択」が表示されます。「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。

7 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが現れます。本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「製造元のファイルのコピー元」に「**A:¥WIN2000**」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

8 「corega FEther CB-TXL」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

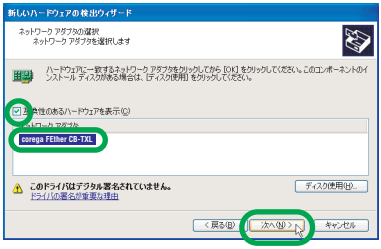

図3.3 ネットワークアダプターの選択

9 次のようなメッセージボックスが現れた場合は、「続行」をクリックしてください（弊社にて動作確認を行っておりますので、「続行」をクリックしてください）。

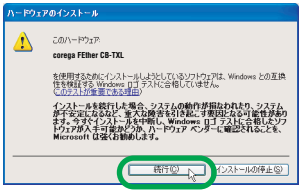

図3.4 Windows ロゴテストに関する警告

10 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。

11 以上でドライバーのインストールは終了です。次の「4 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

4 インストールの確認とアダプターの設定

デバイスマネージャでドライバーのインストールが正常に行われていることを確認します。

1 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックしてください。次のように表示される場合は、「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。

図4.1 カテゴリー別表示のコントロールパネル

2 「システム」をダブルクリックしてください。

図 4.2 クラシック表示のコントロールパネル

3 「ハードウェア」をクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

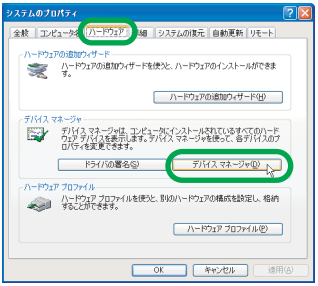

図 4.3 システムのプロパティ

4 「corega FEther CB-TXL」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。
「corega FEther CB-TXL　」が表示されていない場合は、「ネットワークアダプタ」アイコンの左の「＋」をクリックしてください。

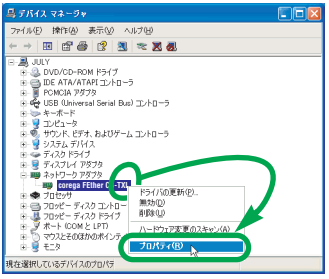

図 4.4 本製品のアイコン

5 「corega FEther CB-TXL のプロパティ」ダイアログボックスが現れます。「全般」タブをクリックし、「デバイスの状態」欄に「**このデバイスは正常に動作しています。**」と表示されていることを確認してください。

6 「リソース」タブをクリックすると、本製品が使用する I/O の範囲、インタラプト（IRQ）などが確認できます（これらは Windows XP によって自動的に設定されます）。

7 「詳細設定」タブをクリックすると、通信速度を設定できます（Connection Type のデフォルトは Auto-Negotiation）。詳しくは、別冊子「corega FEther CB-TXL 取扱説明書」の「5.2.3 本製品の詳細設定」（p.53）をご覧ください。

8 「電源の管理」タブをクリックすると、節電やスタンバイ状態の設定を行うことができます。「「電源の管理」タブが表示されない」(p.4) もご覧ください。

5 本製品の安全な取り外し

本製品は Windows XP のもとで活線挿抜が可能ですが、本製品を安全に取り外すために、以下の手順で行ってください。

1 ネットワークコンピューターのファイルやフォルダを開いている場合は、閉じてください。ネットワークと通信を行っているアプリケーション（データベース、Telnet など）をすべて終了してください。

2 タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックしてください（デスクトップ右下）。

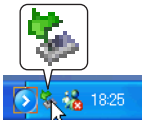

図 5.1 「ハードウェアの安全な取り外し」アイコン

3 「corega FEther CB-TXL を安全に取り外します」バーが現れたら、バーをクリックしてください。

図 5.2 「安全に取り外します」バー

4 本製品を PC カードスロットから取り外してください。

6 IP アドレスの固定設定

本製品のドライバーをインストールすると、自動的にインターネットプロトコル（TCP/IP）が組み込まれ、DHCP を使用して IP アドレスを自動的に取得し、DNS サーバーのアドレスも自動的に取得するように設定されています。

DHCP を使わずに IP アドレスなどを固定的に設定する場合、以下の手順を実行してください。

1 「スタート」→「コントロールパネル（クラシック表示）」の「ネットワーク接続」アイコンをダブルクリックしてください。

2 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

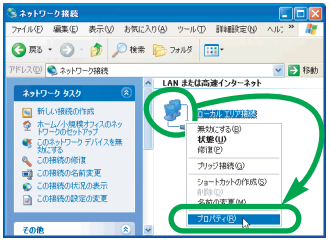

図 6.1 ネットワーク接続のプロパティを表示する

3 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックして、「プロパティ」をクリックしてください。

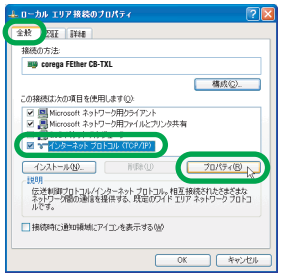

図 6.2 ローカルエリア接続のプロパティー

4 TCP/IP パラメーターの設定を行います。「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「優先 DNS サーバー」「代替 DNS サーバー」の IP アドレスを入力し、「OK」をクリックしてください。
図 6.3 の IP アドレスは説明のための例です。実際の IP アドレスは、お客様の環境に合った値を入力してください。

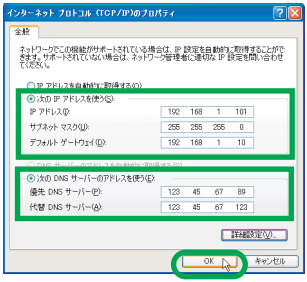

図 6.3 IP アドレスを手動設定する

5 図 6.2 に戻ります。図 6.2 の「OK」ボタンをクリックしてください。

7 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、弊社のホームページ（http://www.corega.co.jp/）などから、最新のドライバーを入手した場合に実行します。

1 「デバイスマネージャ」ウィンドウを開き（図 4.4）、「corega FEther CB-TXL」を右クリックして、現れるメニューの「ドライバの更新」をクリックしてください。

2 「ハードウェアの更新ウィザード」ダイアログボックスが現れます。以後、「3 ドライバーの新規インストール」(p.1) の手順 3 以降にならってください（タイトルバーの名称が異なりますが、手順は同じです）。

8 ドライバーのロールバック

ドライバーの更新により本製品が正常に動作しなくなってしまった場合、更新前に使用していたドライバーに戻すことができます。

1 「デバイスマネージャ」ウィンドウを開き（図4.4）、「corega FEther CB-TXL」を右クリックして、現れるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。

2 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバのロールバック」ボタンをクリックしてください。

9 ドライバーの削除

1 「デバイスマネージャ」ウィンドウを開き（図4.4）、「corega FEther CB-TXL」を右クリックして、現れるメニューの「削除」をクリックしてください。
なお、正常に動作している本製品のドライバーを削除する場合、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください（取り付けられていない場合、本製品のアイコンが表示されません）。

2 「デバイスの削除の確認」メッセージボックスが現れたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

10 トラブルシューティング

ドライバーのインストールの失敗

「4 インストールの確認とアダプターの設定」（p.2）で本製品のアイコンが以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールしてください。

- 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入った
- 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 本製品のアイコンに「！」「？」マークが付く

注意

「5 本製品の安全な取り外し」（p.3）の手順で、バーをクリックした後、本製品を取り外すまで一時的に、本製品のアイコン（図 4.4）に「！」が付きますが、ドライバーのインストールの失敗ではありません。

1 「デバイスマネージャ」ウィンドウを開いてください（図4.4）。

2 「その他のデバイス」「不明なデバイス」「ネットワークアダプタ」の下の不正にインストールされた本製品のアイコンを右クリックし、「削除」をクリックします。

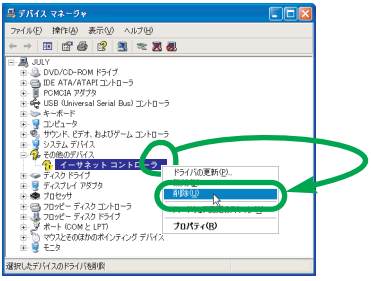

図 10.1 その他のデバイスの下に入った例

3 「デバイスの削除の確認」ダイアログボックスが現れたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

4 Windows XP を終了し、コンピューターの電源をオフにしてください。

5 コンピューターの PC カード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。

6 「3 ドライバーの新規インストール」（p.1）を実行してください。

「マイネットワーク」に希望のコンピューターが表示されない

「マイネットワーク」の「ローカルネットワーク」にご希望のコンピューターが表示されない場合、「希望のコンピューター」と「現在設定中のコンピューター」が属している「ワークグループ」または「ドメイン」が一致していない可能性があります。「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」アイコン→「コンピュータ名」タブ→「変更」ボタンで同一の「ワークグループ」または「ドメイン」に属すように設定してください。

「電源の管理」タブが表示されない

「デバイスマネージャ」ウィンドウ→「コンピュータ」アイコンの下の表示が「ACPI（Advanced Configuration and Power Interface）PC」となっていない場合、「corega FEther CB-TXL のプロパティ」ダイアログボックスに「電源の管理」タブは表示されません。コンピューターのハードウェア、BIOS が ACPI に対応していない可能性があります。詳しくは、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

ご注意

（1）本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を株式会社コレガが保有しています。株式会社コレガに無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
（2）株式会社コレガは、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
（3）株式会社コレガは、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
（4）本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2001 株式会社コレガ

商標について

corega は株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2001年10月　Rev.A　初版